

NEC Express サーバ
Express5800 シリーズ
グラフィックスアクセラレータ

NVS315

ユーザーズガイド

NEC

このユーザーズガイドは、必要なときにすぐ参照できる様、お手元に置いておくようにしてください。
「使用上のご注意」を必ずお読みください。





使用上のご注意(必ずお読みください)

本製品を安全に正しくご使用になる為に必要な情報が記載されています。







また、本文中の名称についてはユーザーズガイドの「各部の名称と機能」の項をご参照ください。

安全に関わる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、このユーザーズガイドの指示に従って操作してください。
このユーザーズガイドには装置の何処が危険か、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。ユーザーズガイドでは、危険の程度を表す言葉として、[警告]と[注意]という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	警告	人が死亡する、または重傷を負う恐れがあることを示します。
	注意	火傷や怪我などを負う恐れや物的損害を負う恐れがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次の意味を持つものとして定義されています。




	注意の喚起	この記号は危険が発生する恐れがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	例：感電注意 
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	例：分解禁止 
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	例：プラグを抜く 

(ユーザーズガイドでの表示例)

注意を促す記号

危険に対する注意の内容

危険の程度を表す用語





		警告
		<p>インターフェースは確実に固定する</p> <p>ビデオケーブル、変換コネクタ等を接続したら、ねじ止め等のロックを確実に行ってください。接触不良を起こし、発煙や発火の原因となる恐れがあります。</p>

本書およびラベルで使用する記号とその内容



注意の喚起

	発煙又は発火のおそれがあることを示します。		感電のおそれのあることを示します。
	高温による障害を負うおそれがあることを示します		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

	本製品を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの障害のおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。

行為の喚起

	本体製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従って操作をしてください。
--	---	--	--

安全上のご注意 ～ 必ずお読みください ～

警告



人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない

本製品は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されていません。これらの設備や機器、制御システムなどに本製品を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。



本体装置の警告、注意事項に従う

本製品を使用する際は、必ず本体装置の警告、注意事項に従ってください。



煙や異臭、異音がしたまま使用しない

万一、煙や異臭、異音などが生じた場合は、ただちに本体装置の電源を OFF にして、本体装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。

注意



装置内に水や異物を入れない

本製品や本体装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。

火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、ただちに本体装置の電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。



注意



指定以外の場所に設置・保管しない

本製品を次に示す場所や、本体装置で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ・ほこりの多い場所。
- ・給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- ・直射日光のあたる場所。
- ・不安定な場所



腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない

腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。本製品のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。

もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。



電源プラグを差し込んだまま本製品やインターフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない

本製品やインターフェースケーブルの取り付け／取り外しは、本体装置の電源を OFF にして、本体装置の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ本体装置の電源を OFF にしても本体装置の電源プラグを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。



指定以外のインターフェースケーブルを使用しない

インターフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続するモニターやコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のものを使用したり接続先を誤ったりすると、ショートにより火災をおこすことがあります。また、インターフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- ・破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ・ケーブルを踏まない。
- ・ケーブルの上に物を載せない。
- ・ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- ・破損したケーブルを使用しない。



インターフェースは確実に固定する



ビデオケーブル、変換コネクタ等を接続したら、ねじ止め等のロックを確実に行ってください。接触不良を起こし、発煙や発火の原因となる恐れがあります。





インターフェースケーブルを持って引き抜かない



ケーブルを抜くときはねじ止め等のロックを外し、コネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。

取り扱い・お手入れに関する注意事項

 警告	
	<p>自分で分解・修理・改造はしない 本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本製品が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。</p>

 注意	
	<p>高温注意 本体装置の電源を OFF にした直後は、本製品を含め、装置内の部品が高温になっています。十分に冷えたことを確認してから取り付け／取り外しを行なってください。</p>

運用中の注意事項

 注意	
	<p>雷がなったら触らない 雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本製品には触れないでください。また、機器の接続や取り外しも行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。</p>

はじめに

このたびは、グラフィックスアクセラレータ NVS315 をご購入いただきありがとうございます。
本製品は当社の Express5800 サーバ シリーズ上で動作する Microsoft Windows Server 2012 R2 に
対応し、大画面&高解像度(フル HD)の 2 画面表示が可能となるグラフィックスアクセラレータ・カ
ードです。

本製品の持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置
の取り扱いを十分にご理解ください。

ご注意

- (1) 本書はグラフィックスアクセラレータ NVS315 の取り扱い方法を説明しています。
本製品以外の機器については、それぞれの製品の説明書をご参照ください。
- (2) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (3) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (4) NEC の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (5) 本書は必要な時にすぐ参照できるよう大切に保管してください。
- (6) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど
お気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (7) 運用した結果の影響については(6)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

Microsoft Windows Server 2012 R2, MS-DOS は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の
国における登録商標または商標です。

NVIDIA, NVS は米国およびその他の国における NVIDIA Corporation の商標または登録商標です。

OpenGL は、Silicon Graphics, Inc. の登録商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

オペレーティングシステムの表記

本書では、Windows オペレーティングシステムを次のように表記します。

本書の表記	Windows OS の名称
Windows Server 2012 R2	Windows Server 2012 R2 Standard
	Windows Server 2012 R2 Datacenter
	Windows Server 2012 R2 Foundation

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを
目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用され
ると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

V C C I - B

保証について

本製品の保証に関しては、本体装置の保証書及び本体装置のユーザズガイドをご覧ください。
保障期間後の修理についてはお買い求めの販売店、最寄の NEC または保守サービス会社に連絡してください

- ・ NEC 製以外(サードパーティ)の本体装置、NEC が認定していない装置やインターフェースケーブルを使用したために起きた故障については、その責任を負いかねますのでご了承ください。

情報サービスについて

Express5800 シリーズに関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。

ファーストコンタクトセンター

TEL. 03-3455-5800 (代表)

受付時間／9:00 ～12:00、13:00 ～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日、弊社休日を除く)

またインターネットでも情報を提供しています。

<http://www.nec.co.jp/> 『NEC コーポレートサイト』：製品情報、Q&A など最新情報満載！
本ホームページに製品添付 DVD-ROM のディスプレイドライバのバージョンよりも新しいバージョンが登録されていることがありますので、必要に応じてご確認ください。

第三者への譲渡について

本製品を第三者に譲渡(または売却)するときは、次の注意を守ってください。

- ・ グラフィックスアクセラレータ本体について
本製品を第三者へ譲渡(または売却)する場合には、本書を一緒にお渡しください。
- ・ 添付のソフトウェアについて
 - － 本製品に添付のソフトウェアを第三者へ譲渡(または売却)する場合には、全てを譲渡し、譲渡した側は一切の複製物を保持しないこと
 - － ソフトウェアに添付されているソフトウェアのご使用条件の譲渡、移転に関する条件を満たすこと

製品の廃棄について

本製品の廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

目次

使用上のご注意(必ずお読みください).....	1
安全に関わる表示について.....	1
安全上のご注意　　～ 必ずお読みください ～	3
はじめに.....	6
ご注意.....	6
商標について	6
その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。.....	6
オペレーティングシステムの表記	6
保証について	7
情報サービスについて	7
第三者への譲渡について	7
製品の廃棄について	7
インストールの前に.....	9
付属品の確認	9
動作環境の確認	9
1. インストレーション.....	10
2. ハードウェアのインストール.....	11
2.1 カードの取り扱いに関する注意事項.....	11
2.2 カードの実装	12
2.3 カードの取り外し	15
3. ソフトウェアのインストール/アンインストール.....	16
3.1 ディスプレイドライバのインストール.....	16
3.2 ディスプレイドライバのアンインストール.....	18
4 コンフィグレーション	19
4.1 Windows Server 2012 R2でのコンフィグレーション.....	19
4.1.1. 複数画面の設定.....	19
4.1.2. 画面の解像度、表示色数、リフレッシュレートの設定.....	20
4.1.3. NVIDIAコントロールパネル.....	21
5. トラブルシューティング	28
5.1 画面が真っ暗で表示されない.....	28
5.1.1 本体装置の電源を入ると本体の電源ランプが点灯するのに全く画面が出ない.....	28
5.1.2 起動時にWindows起動画面から切り替わるタイミングで画面表示されなくなる.....	28
5.2 起動時にブルーバック画面で止まってしまう.....	28
5.3 ディスプレイドライバをインストールしても、VGAモードで起動してしまう.....	28
5.4 十分なパフォーマンスが得られない.....	29
5.5 機能制限について	29
6. 各部の名称と機能.....	30
6.1 外観	30
6.2 製品仕様	31
6.3 モニタインターフェース・コネクタ仕様.....	32
6.3.2 DVI-Iコネクタ・インターフェース(DMS59 DVIビデオ分岐ケーブル接続時).....	33
6.3.3 Dsubコネクタ(付属のDVIビデオ分岐ケーブル+DVI-VGA変換コネクタ接続時).....	34

インストールの前に

付属品の確認

本製品に添付されている「スタートアップガイド」を参照して、すべてがそろっているか確認しそれぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。

動作環境の確認

本体装置

本製品は PCI-Express スロット搭載の当社の Express5800 サーバ シリーズ上で動作します。
本製品の対応機種、ご利用いただく時の制限事項などにつきましては販売店に確認してください。
また、当社が動作保証していない拡張ボードと本装置を組み合わせた場合には、本製品の動作保証を致しかねますのでご了承ください。

オペレーティングシステム

本製品は Windows Server2012 R2 が正常に動作する環境でお使いいただけます。

モニター

本製品の解像度、リフレッシュレートに適合したモニターをご使用ください。モニターによってはサポートする解像度やリフレッシュレートが異なりますのでご注意ください。

1. インストール

本章ではハードウェア／ソフトウェアのインストールについて説明します。インストールを行うシステムに実装されているグラフィックスアクセラレータの有無によってインストールの手順が変わってきますので、下記の手順にしたがってインストールを実施してください。

またBT0でNVS315を実装済みのシステムについても、ディスプレイドライバのインストール作業が必要になりますのでご注意ください。

- (1) NVS315以外のグラフィックスアクセラレータからNVS315に変更する場合には、インストールを行う前に他のディスプレイドライバをアンインストールしてください。

またディスプレイドライバのアンインストール後には再起動を行い、正常に起動できることを確認してください。

※ディスプレイドライバのアンインストール方法がわからない場合には、以下の手順を実施してください。

- ① スタートボタンの上で右クリックし[コントロールパネル]の [プログラムのアンインストール]をクリックする。
(表示方法が「大きいアイコン」または「小さいアイコン」表示の場合は、[プログラムと機能]をクリックする。)
- ② インストールされているプログラムリストから該当するドライバをダブルクリックしてアンインストールする。
- ③ Windowsの再起動を行う。

※ 再起動後にWindowsのINBOXディスプレイドライバがインストールされる場合があります。再起動を要求された場合は、指示に従いもう一度再起動を行ってください。

- (2) 装置を起動してBIOS設定画面で下記の設定を行ったあと、Save and PowerOFFで設定を保存してシステムをシャットダウンしてください。

BIOS Menu → Advanced → PCI Configuration → PCI Device Controller and Option ROM Settings
[VGA Priority] Onboard ⇒ Offboard

- (3) 基本装置の電源がOFFになっている事を確認して、電源プラグを抜き、「2. ハードウェアのインストール」を参照してNVS315カードを基本装置に装着してください。

- (4) 「3.1 ディスプレイドライバのインストール」を参照してディスプレイドライバをインストールしてください。

以上の手順でインストールを行ってください。

2. ハードウェアのインストール

2.1 カードの取り扱いに関する注意事項

- ・ 本製品の本体装置への取り付けは、お買い求めの販売店または保守サービス会社に依頼することをお勧めします。また取り付けの際は本体装置に添付されているユーザズガイドもあわせてご参照ください。
- ・ 本製品に使用されている電子部品は静電気によって破壊される可能性があります。本製品を取り扱う際には身体の一部をアースする等の静電気対策を行ってください。また部品面やコネクタ類には直接手を触れないで、リアパネルや基盤の端を保持するようにしてください。
怪我防止のためにも、本製品を取り扱う際には静電気防止手袋を着用して作業してください。
- ・ 本製品を本体装置に取り付けや取り外しを行う場合、および本製品に接続するケーブル類を取り付けや取り外しを行う場合は、必ず本体装置及び周辺装置の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- ・ お客さまが本製品の取り付け、取り外しの作業中、万一ネジやクリップなどの導電物質を本体装置内に落下させ取り出すことが困難な場合は、お買い求めになった販売店または保守サービス会社にご相談ください。
- ・ 本製品のそばでは携帯電話や PHS、ポケットベルの電源を OFF にしておいて下さい。電波による誤動作の原因となります。
- ・ 本製品の本体装置への取り付け時には、本体装置の PCI スロット開口部の長さにあったブラケットを使用してください。本製品では 120mm のブラケットを装着していますが、本体装置により製品添付している 80mm のロープロファイルブラケットに交換することが可能です。



注意



電源コードを抜く

本体装置が稼動している場合、本体装置上で動いているアプリケーションをすべて終了させ、本体装置及び周辺装置の電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。



高温注意

本体装置の電源を切った直後は、装置内部が高温になっています。十分に冷えたことを確認してからボードの取り付けを行ってください。

2.2 カードの実装

- (1) 本体装置と周辺装置の電源が切れている事を確認して、本体装置の電源プラグを抜く。
- (2) 本体装置に添付されているユーザズガイドにしたがって本体装置のカバーを取り外す。
- (3) 本体装置に添付のユーザズガイドにしたがって、PCI-Express スロットのバックパネルカバー、もしくは実装されている PCI-Express カードを固定しているねじもしくは固定治具を外しバックパネルまたは PCI-Express カードを取り外す。

※本体装置によってはカード固定ねじ/固定治具のほかに PCI-Express スロットにカード固定機構が用意されていますのでご注意ください。



注意



高温注意

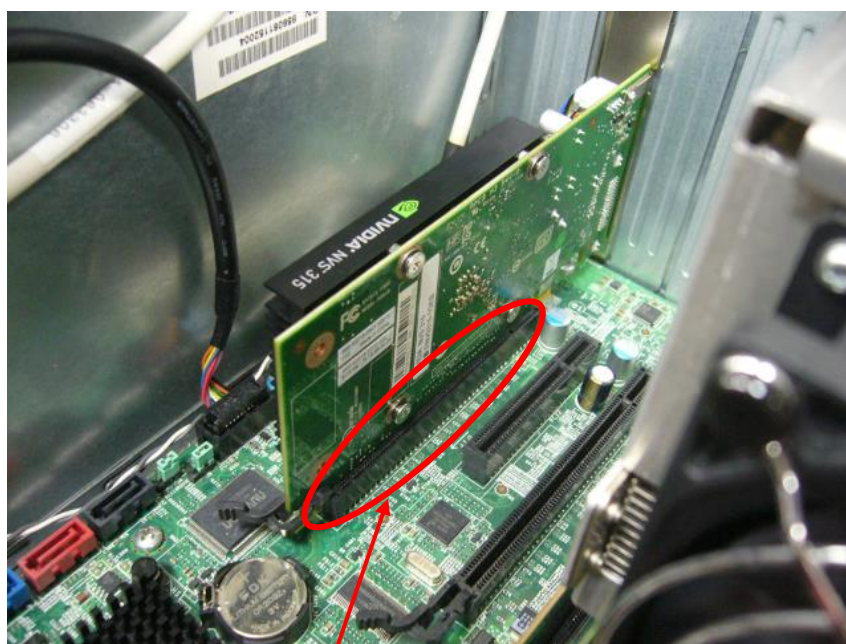
本体装置の電源を切った直後は、装置内部、PCI-Express カードが高温になっています。十分に冷えたことを確認してから PCI-Express カードの取り外してください。



ヒートシンクの角を持たない

本製品の取り付けや取り外しの際は、怪我をしないようにヒートシンクの角に注意して作業を行ってください。

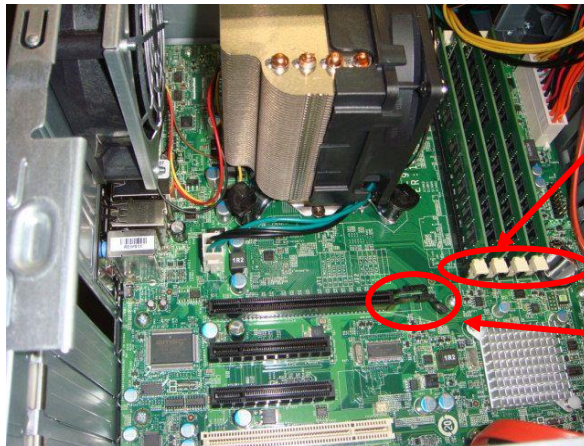
- (4) NVS315 の PCI-Express カードエッジコネクタを本体装置の PCI-Express スロットに奥まで確実にセットされるように、しっかりと挿し込んでください。



PCI-Express カードエッジコネクタを本体装置の PCI-Express スロットにカードが奥まで確実にセットされるように、しっかりと挿し込む。

※PCI-Express スロットの近くにメモリスロットがある場合は、メモリロックレバーがきちんと起きていることを確認して接続してください。

※PCI-Express スロットにロックレバーがある場合、接続時にロックレバーが破損する恐れがありますので、ロック部分に十分注意しながら装着してください。



メモリロックレバー

PCI-Express スロットロックレバー



注意



無理な力を加えない

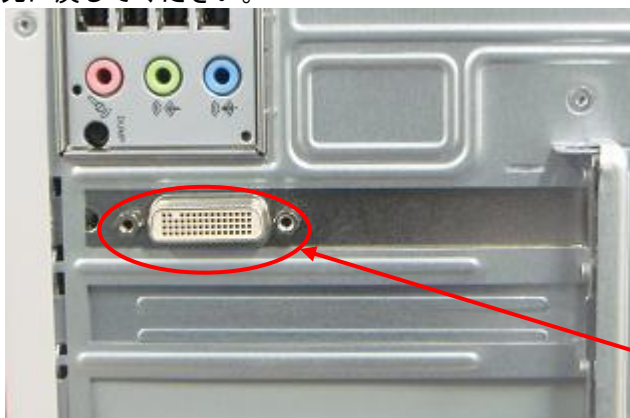
うまくカードが取り付けられない時は、カードを一度取り外してから再度取り付け直してください。カードに過度の力を加えると破損するおそれがあります。

また実装時にカード上の部品（ヒートシンクやコンデンサ等）に力が加わらないようにしてください。

- (5) カードの接続が終わりましたら、ボードがしっかりささっていることを確認してから、取り外したねじもしくは固定治具で NVS315 を固定して下さい。

このとき、背面から見て DMS59 コネクタがきれいに見えることを確認してください。

コネクタの取り付け確認後に取り外したあとに本体装置に添付のユーザーズガイドにしたがって装置を元に戻してください。

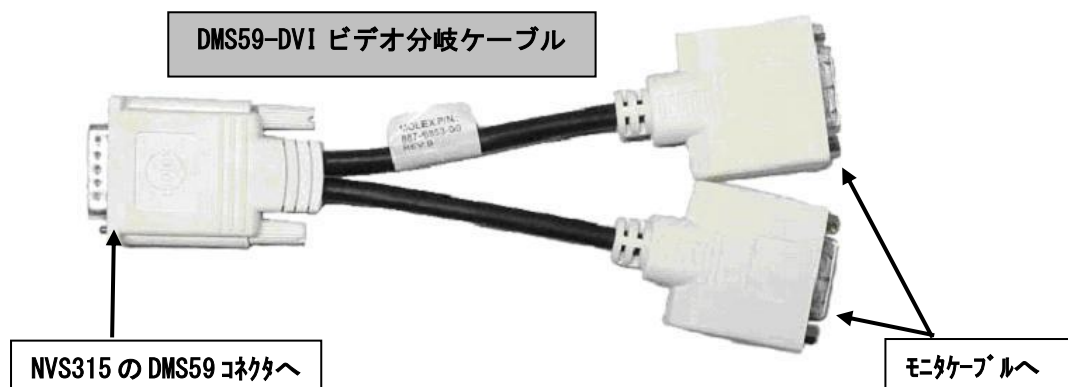


DMS59 コネクタ

(6) モニタケーブルの接続

NVS315 カード添付の DMS59-DVI ビデオ分岐ケーブルを背面のコネクタに接続します。

モニタケーブル接続側のコネクタには 1, 2 の刻印があり、1 がプライマリ出力になります。



アナログモニタ (CRT モニタ、LCD モニタ) に接続される場合

DMS59-DVI ビデオ分岐ケーブルの DVI コネクタ 1 に付属の DVI-VGA 変換コネクタを接続した上で、DVI-VGA 変換コネクタ上の VGA コネクタにビデオケーブルを接続する。

D-sub15 ピンインタフェースのディスプレイを 2 台接続する際は、DVI-VGA 変換コネクタ (N8005-1001) を追加でご購入ください。

デジタルモニタ (DVI 対応 LCD モニタ) に接続される場合

DMS59-DVI ビデオ分岐ケーブルの DVI コネクタ 1 にビデオケーブルを接続して下さい。

アナログモニタ・デジタルモニタに共通の注意事項

シングルモニタの場合は、DMS59-DVI ビデオ分岐ケーブルの DVI コネクタ 1 と表記されているコネクタに接続してください。

DMS59 コネクタ、DVI-I コネクタ及び DVI-VGA 変換コネクタは、隙間がないように奥まで挿し込み、ねじでしっかり固定してください。

※複数画面で使用される場合は、プライマリモニタとセカンダリモニタを「6.4 モニタインターフェース・コネクタ仕様」を参考にして接続してください。

(7) (2) で取り外した本体装置のカバーを元に戻して本体装置の電源ケーブルを接続する。

(8) 装置を起動して BIOS 設定画面で下記の設定を行ったあと、Save and Exit で設定を保存してシステムを再起動してください。

BIOS Menu → Advanced → PCI Configuration → PCI Device Controller and Option ROM Settings [VGA Controller] Enabled ⇒ Disabled

以上でハードウェアのインストールは完了です。

※電源投入時に「ピーピーピ」または「ピ、ピ、ピ、ピ、ピ」とブザー音がする場合には、NVS315 が正しく認識されていません。その場合にはカードが PCI-Express スロットに確実に奥まで差し込まれているか確認して、再度 PCI-Express スロットに装着しなおしてください。

2.3 カードの取り外し

※カード取外しの際には、PCI-Express スロットにカード固定機構がある場合には固定機構(図 1)の解除方法を確認し、正しく解除した上でカードの取り外しを行う必要があります。

※固定機構が解除されないままカードの取り外しを行うと、固定機構が破損する恐れがありますのでご注意ください。

- (1) 本体装置と周辺装置の電源が切れている事を確認して、本体装置の電源プラグを抜く。
- (2) 本体装置と接続しているモニタ及び DMS-59 DVI ビデオ分岐ケーブルを外す。
- (3) 本体装置に添付されているユーザズガイドにしたがって本体装置のカバーを取り外す。
- (4) NVS315 を固定しているリアブラケットのねじ、もしくは固定治具を外す。
- (5) PCI-Express スロットにカード固定機構がある場合はロック部分(図 1)を指で矢印の方向に押し

ながら NVS315 を取り外す。
注意) ロック部分(図 1)を指で押しながら、NVS315 の平行を保ちながらまっすぐ上に引き抜いて(図 2)、PCI-Express スロットから取り外す。



図 1

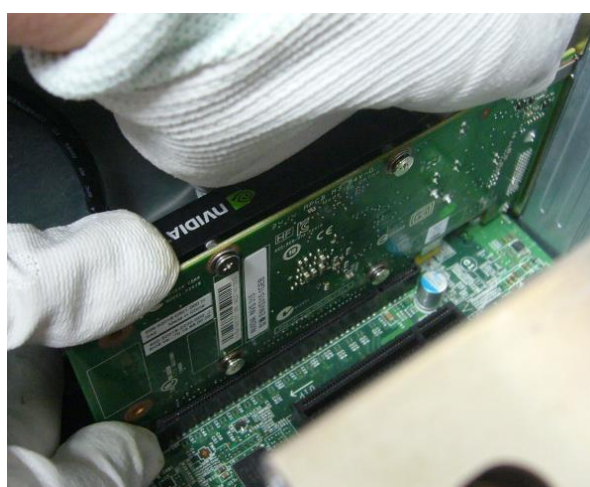


図 2

- (6) PCI-Express スロットのバックパネルカバーを付けて、ねじもしくは固定治具で固定する。
- (7) 本体装置のカバーを元に戻す。

注意) NVS315 を取り外してオンボードのグラフィックスチップを使用する場合は事前に NVS315 のディスプレイドライバのアンインストール、BIOS の設定変更とオンボードグラフィックス用ディスプレイドライバのインストールが必要です。

NVS315 のディスプレイドライバのアンインストールは「3.2 ディスプレイドライバのアンインストール」を参照してください。

BIOS の設定変更は「1. インストレーション」の(2)と「2.2 カードの実装」(8)で設定変更した 2 つの項目を元に戻してください。

[VGA Priority] Offboard ⇒ Onboard

[VGA Controller] Disable ⇒ Enabled

オンボードグラフィックス用ディスプレイドライバのインストールは本体装置に添付されているユーザズガイドに従ってください。

3. ソフトウェアのインストール/アンインストール

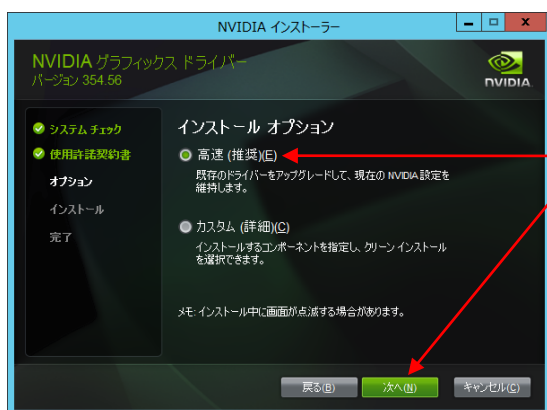
3.1 ディスプレイドライバのインストール

- (1) 添付の「Express5800 Series N8105-48 Graphics Driver」DVD-ROM ディスクを用意する。
 - (2) OS を起動後 Administrator 権限のあるアカウントでログインする。
※OS の PnP 機能により本製品が検出され、[新しいハードウェアの検出ウィザード]が起動すること
があります。この場合には[キャンセル]ボタンをクリックしてウィザードを終了してください。
 - (3) 用意した DVD-ROM を DVD-ROM ドライブにセットする。
 - (4) エクスプローラを起動します。
 - ・タスクバーにある[エクスプローラ]のアイコンをクリックします。
 - ・スタートボタンの上で右クリックし、[エクスプローラ]をクリックします。
 - (5) エクスプローラで DVD-ROM 内にある setup.exe をダブルクリックしてインストーラを起動します。
 - ・[WS2012R2] フォルダにあるにある[Setup.exe]をダブルクリックします。
- ※ご使用の OS に合うファイルを正しく選択してください。異なる OS のドライバをインストールすると正常に動作しませんのでご注意ください。

(6) Windows Server 2012 R2 用ディスプレイドライバのインストール



[同意して続行する(A)]ボタンをクリック



インストールする形式の選択を行います。
[高速 (推奨) (E)]にチェックが入っていることを
確認して[次へ(N)]ボタンをクリック



[閉じる(C)]ボタンをクリックしてインストーラ
を終了してください。

(7) インストーラ終了後に OS を再起動してください。

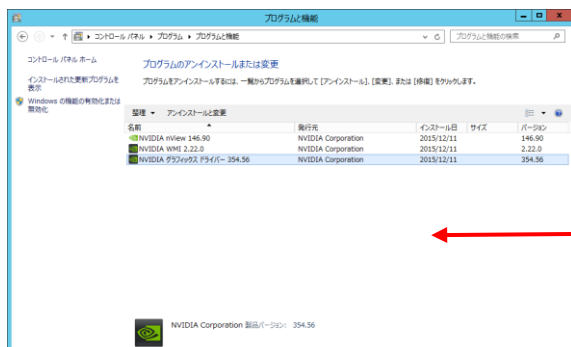
(8) 以上でディスプレイドライバのインストールは完了です。

ディスプレイドライバのインストール後、「4 章 コンフィグレーション」を参考にして画面の解像度、画面の色、リフレッシュレートなどの設定を行ってください。

3.2 ディスプレイドライバのアンインストール

以下の手順に従ってディスプレイドライバをアンインストールしてください。

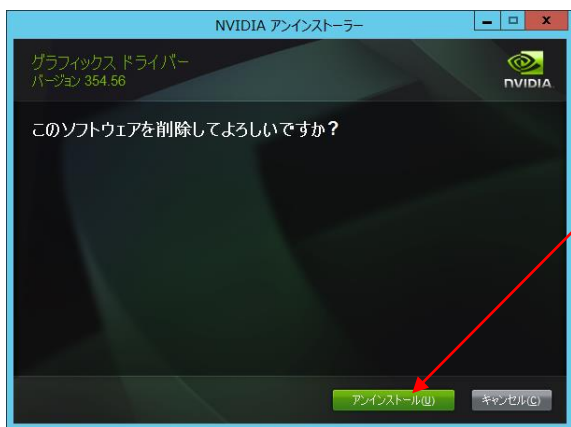
- (1) OS を起動後 Administrator 権限のあるアカウントでログインする。
- (2) スタートアイコンの上で右クリックし、[コントロールパネル]⇒[プログラムのアンインストール]の順にクリックする。
(表示方法が「大きいアイコン」または「小さいアイコン」表示の場合は、[プログラムと機能]をクリックする。)



インストールされているプログラム一覧から [NVIDIA グラフィックス ドライバ- xxx.xx] をダブルクリックしてアンインストールを開始してください。

※ OSに対応したドライバーバージョンが表示されます。

※ このとき、ユーザーアカウント制御に関する許可を求められた場合は[続行]または[はい]をクリックしてアンインストールを続けてください。



[アンインストール(U)]ボタンをクリックしてアンインストールを続行してください。



[今すぐ再起動する(R)]ボタンをクリックして再起動を行ってください。

※NVIDIAnView 及び NVIDIA WMI ドライバは別途個別にアンインストールする必要があります。
ドライバアンインストールと同様の手順でアンインストールを行ってください。

- (3) アンインストールが終わると再起動を要求されます。アンインストールを反映させるにはシステムの再起動が一度必要になりますので、[はい]をクリックして再起動を行ってください。

以上で、ディスプレイドライバのアンインストールは完了です。

4 コンフィグレーション

本章では、画面設定及び[NVIDIA コントロールパネル]でのコンフィグレーションについて説明します。

4.1 Windows Server 2012 R2でのコンフィグレーション

[画面の解像度] から行なうことのできる、NVS315のコンフィグレーションについて説明します。

※Windows Server 2012 R2 上でコンフィグレーションを設定する場合には[管理者 (Administrator)] としてログオンする必要があります。

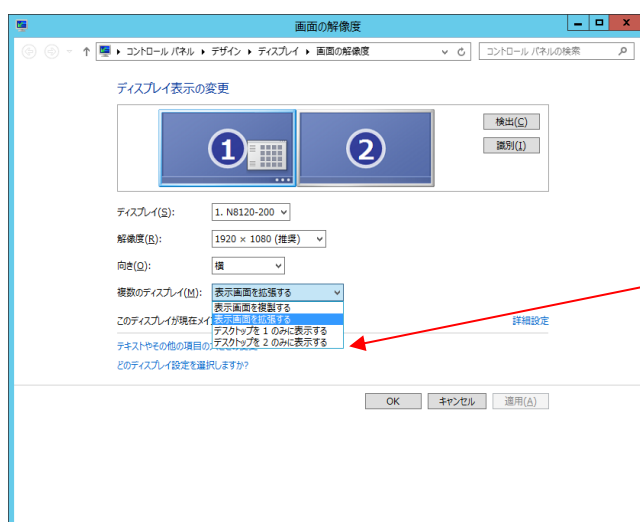
※ [画面の解像度] のウィンドウは、次の方法で呼び出すことができます。

- ・[コントロールパネル]⇒[画面の解像度の調整]の順にクリックします。
- ・デスクトップ上で右クリックを行い表示されたメニューから[画面の解像度 (C)]の順にクリックします。

4.1.1. 複数画面の設定

NVS315 では、2つのディスプレイをそれぞれ独立して使用することができます。

複数画面の設定は、以下のように行います。



① 「複数のディスプレイ (M)」のプルダウンメニューにて選択

- ・ [表示画面を複製する]
クローン表示します
- ・ [表示画面を拡張する]
画面を拡張します
- ・ [デスクトップを*のみに表示する]
1 又は 2 だけの表示になります。

② [適用 (A)] をクリックする。

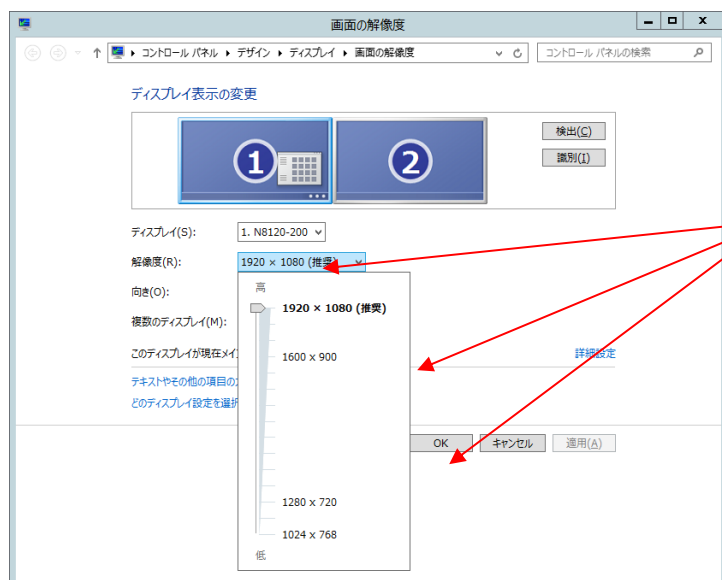
ここでは、複数画面の設定や、画面の領域 (解像度) の設定をすることができます。

さらに、[詳細設定] ボタンで [NVS315] のプロパティを呼び出し、[モニタ] タブにて、リフレッシュレート、色数などの設定を行うことができます。

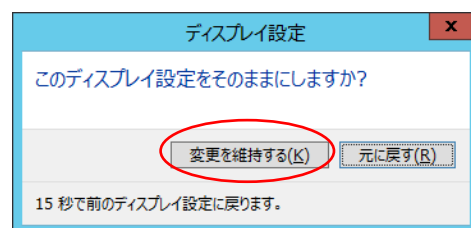
4.1.2. 画面の解像度、表示色数、リフレッシュレートの設定

・画面の解像度

画面の解像度の変更は、[画面の設定]で行うことができます。



解像度を変更するディスプレイを選択し、「解像度(R)」のスライダーで解像度を調整して[適用(A)]をクリックしてください。



変更する解像度によっては上のようなポップアップウィンドウが現れます。変更内容が適切であることを確認して[変更を維持する(K)]をクリックしてください。

・画面の解像度について

画面の解像度が大きいほど多くの情報を同時に表示することができますが、反対に画素(ピクセル)のサイズは小さくなり表示が見にくくなる場合があります。また表示できる最大の解像度は接続するモニタの性能にも左右されるのでモニタの取り扱い説明書を参照して設定を行ってください。

・表示色数の設定(※Windows Server 2012 R2 は 32 ビット(TrueColor)の固定です。)

画面の表示色数の変更は、[画面の解像度]にある[詳細設定(V)]をクリックして現れる[汎用 PnP と NVIDIA NVS315 のプロパティ]で行います。[モニタ]のタブをクリックし[色(C)]のプルダウンメニューから表示したい色数を選択して、[OK]をクリックしてください。

・表示色数について

NVS315 では、256 色、65536 色、TrueColor の表示色数をサポートしています。表示色数の違いは、同時に表現できる色数の差になります。

・リフレッシュレートの設定(※自動で推奨値が設定されます。)

リフレッシュレートの設定は、[画面の解像度]にある[詳細設定(V)]をクリックして現れる[汎用 PnP と NVIDIA NVS315 のプロパティ]で行います。[モニタ]のタブをクリックし[画面のリフレッシュレート(S)]のプルダウンメニューから変更したいリフレッシュレートを選択し、[適用(A)]をクリックしてください。

・リフレッシュレートについて

リフレッシュレートは 1 秒間に行う画面書き換え回数のことで、リフレッシュレートが高いほど画面のちらつきを抑えることができます。しかし、リフレッシュレートを上げるほどグラフィックスの描画性能は下がりますので注意してください。

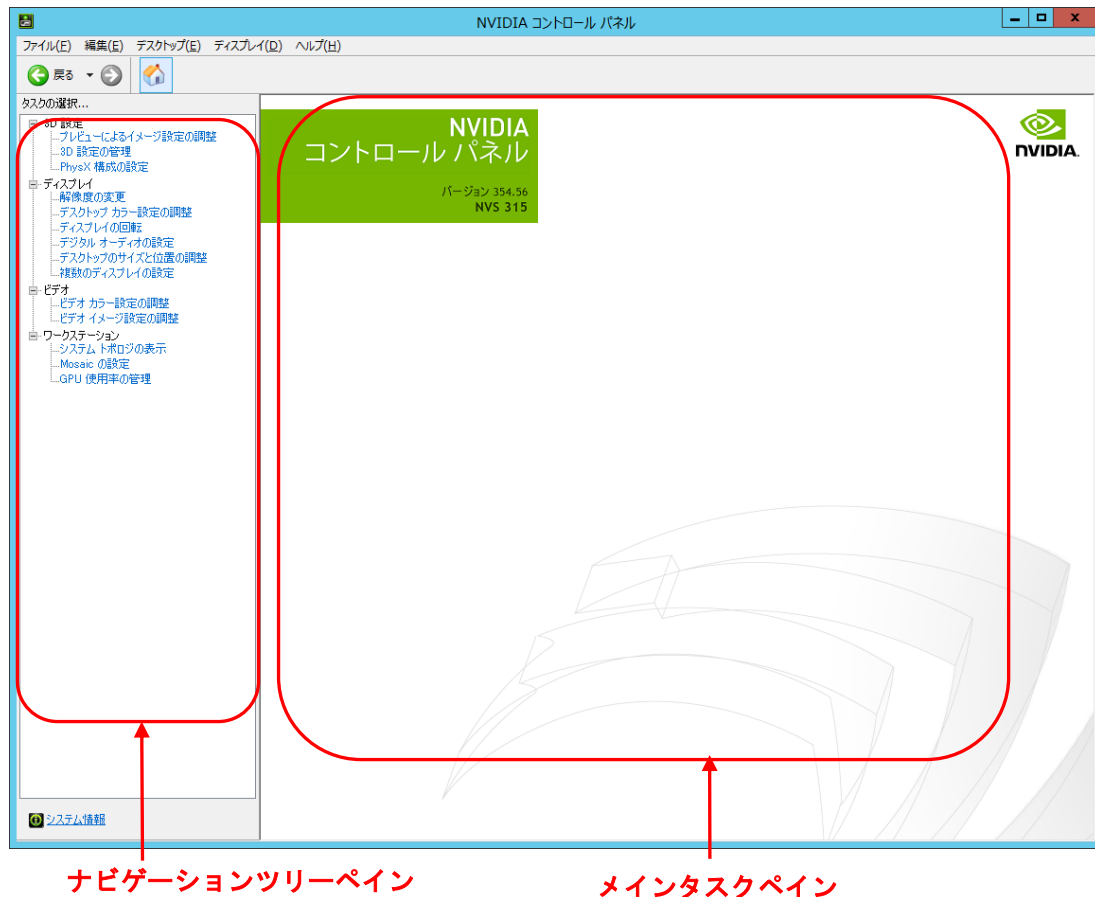
LCD モニタでは残像時間が長いことから CRT モニタに比べて高いリフレッシュレートを必要としません。また、リフレッシュレートの上限は接続するモニタによって異なります。

※複数画面の設定、画面の解像度、表示色数、リフレッシュレートの設定は、[NVIDIA コントロールパネル]からも行うことができます。[NVIDIA コントロールパネル]での設定方法は、次項で説明します。

4.1.3. NVIDIAコントロールパネル

・[NVIDIA コントロールパネル]の表示

[NVIDIA コントロールパネル]起動するには、デスクトップ上で右クリックをして現れるメニューから[NVIDIA コントロールパネル]を選択してクリックします。



- ・[NVIDIA コントロールパネル]では、メインタスクペインとナビゲーションツリーペインを使いドライバの設定を行います。
- ・メインタスクペインは、ディスプレイドライバの設定を行う場所です。次回以降、コントロールパネルは、最後に閲覧したページを開きます。
- ・ナビゲーションツリーペインは、コントロールパネルで使用できるタスクページがツリー状に表示されています。使用できるタスクは、以下のカテゴリがあります。

- | | |
|-------------|--|
| ・ 3 D 設定 | ー 3 D パフォーマンスと画質を設定します。 |
| ・ ディスプレイ | ー ディスプレイ解像度、複数のディスプレイの使用方法などをセッアップします。 |
| ・ ビデオ | ー ビデオ出力の設定(※サポート対象ではありません。) |
| ・ ワークステーション | ー 接続されているディスプレイとグラフィックカードを表示します。 |

NVIDIA コントロールパネルのタスクメニューは次のようになっています。

(I) [3D 設定]

「3D 設定のカテゴリ」の内には次の項目があります。

- ・ プレビューによるイメージ設定の調整
- ・ 3D 設定の管理
- ・ PhysX 構成の設定

各項目の内容について以下に説明しています。

[プレビューによるイメージ設定の調整]



[プレビューによるイメージ設定の調整]

それぞれの設定変更に対しての画質をプレビューできます。

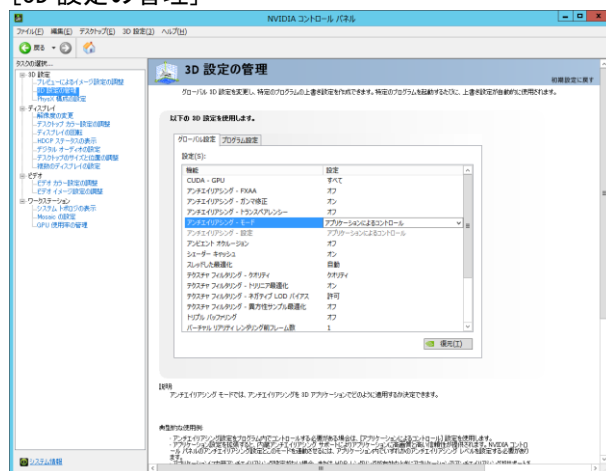
設定の方法は、

- ・ 3D アプリケーションによって自動的に決定する (L)
- ・ 詳細 3D イメージ設定を使用する (U)
- ・ マイ プレファレンスを使用する (M)

の 3 つの設定方法があります。

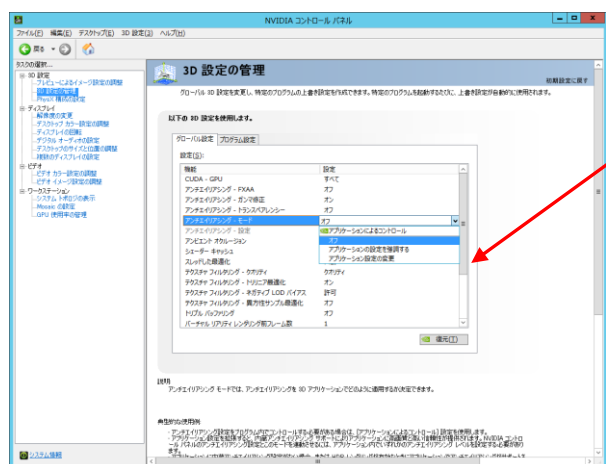
[詳細設定] をクリックすることでカスタム設定や各 3D アプリケーションに対応した設定を行う [3D 設定] の管理をすることができます。

[3D 設定の管理]



[3D 設定の管理]

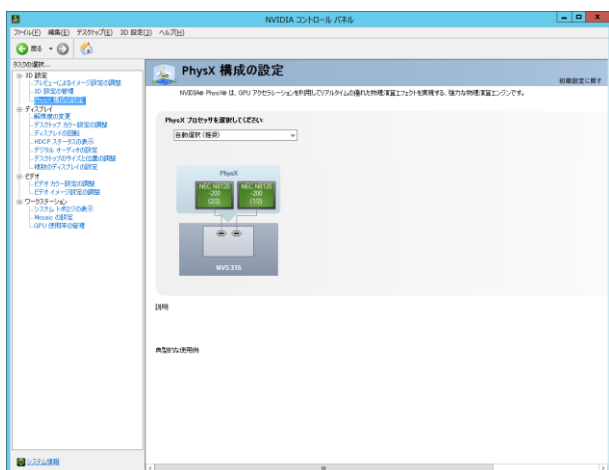
グローバル設定のダイアログボックスにある各機能を設定することができます。



各機能の設定方法は、変更したい機能を選択してプルダウンメニューから行います。変更後は[適用(A)]をクリックして、変更内容を反映してください。

[PhysX 構成の設定]

※内容について以下に説明していますが、弊社としてはサポート外の機能となっています。



[PhysX 構成の設定]

PhysX の設定をします。

(Ⅱ)[ディスプレイ]

「ディスプレイ」のカテゴリ内には次の項目があります。

- ・ 解像度の変更
- ・ デスクトップカラー設定の調整
- ・ ディスプレイの回転
- ・ HDCP ステータスの表示
- ・ デジタルオーディオの設定
- ・ デスクトップのサイズと位置の調整
- ・ 複数のディスプレイの設定

各項目の内容について以下に説明しています。

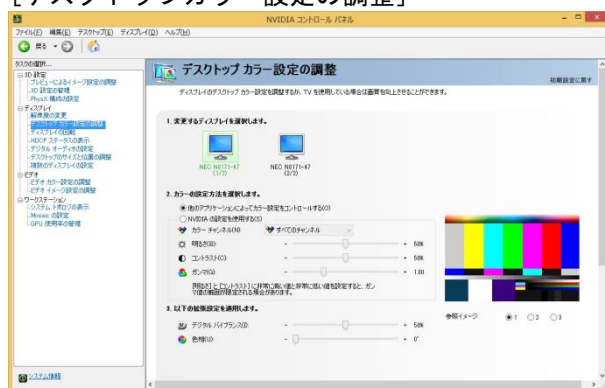
[解像度の変更]



[解像度の変更]

使用中のディスプレイの解像度と表示色を、各ディスプレイごとにスライダーで変更することができます。
また、リフレッシュレートの変更もすることができます。

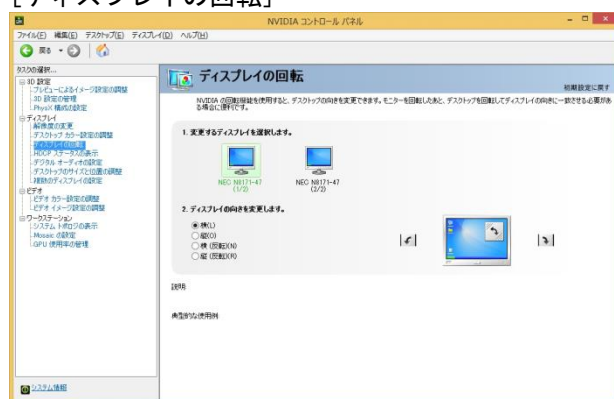
[デスクトップカラー設定の調整]



[デスクトップカラー設定の調整]

明るさ、コントラストなどのディスプレイカラーの調整を、スライダーまたはグラフを使って、各ディスプレイごとに行うことができます。

[ディスプレイの回転]



[ディスプレイの回転]

デスクトップの位置を回転させて表示するようにできます。

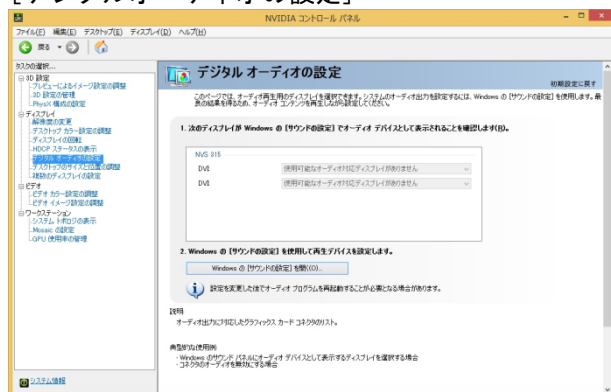
[HDCP ステータスの表示]



[HDCP ステータスの表示]

HDCP に対応しているかどうかを表示します。

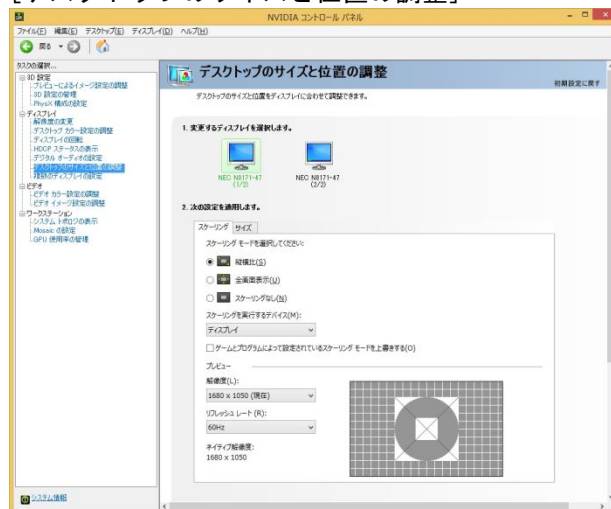
[デジタルオーディオの設定]



[デジタルオーディオの設定]

オーディオ再生用のディスプレイを選択します。

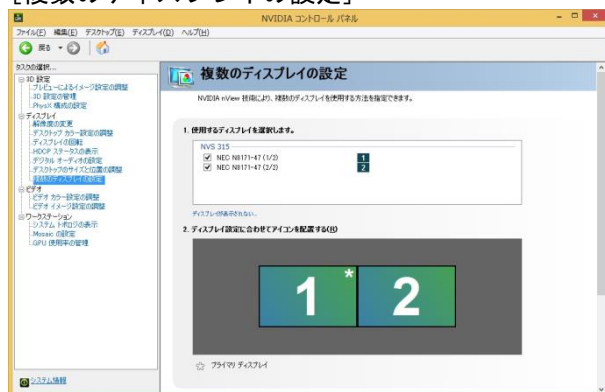
[デスクトップのサイズと位置の調整]



[デスクトップのサイズと位置の調整]

各スケーリングを選択できます。

[複数のディスプレイの設定]



[複数のディスプレイの設定]

複数のディスプレイを使用する方法を指定できます。

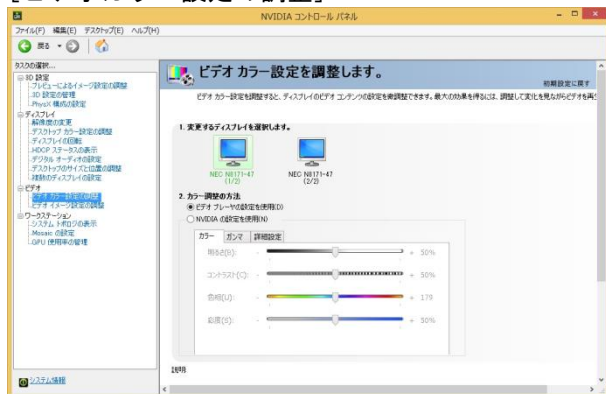
〔Ⅲ〕[ビデオ]

「ビデオ」のカテゴリ内には次の項目があります。

- ・ビデオカラー設定の調整
- ・ビデオイメージ設定の調整

※内容について以下に説明していますが、弊社としてはサポート外の機能となっています。

[ビデオカラー設定の調整]

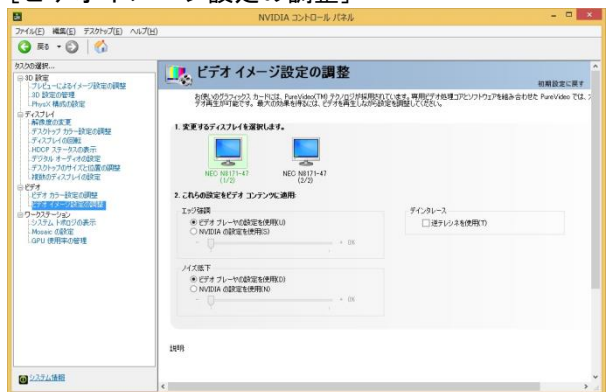


[ビデオカラー設定の調整]

ビデオコンテンツの表示設定をすることができます。

[NVIDIA の設定を使用(N)]をチェックした場合、各タブ内のダイアログボックスでスライダーを使用して微調整することができます。

[ビデオイメージ設定の調整]



[ビデオイメージ設定の調整]

ディスプレイに表示されるビデオコンテンツのイメージ設定をすることができます。

(Ⅳ) [ワークステーション]

「ワークステーション」のカテゴリ内には次の項目があります。

- ・システムトポロジの表示
- ・Mosaic の設定
- ・GPU 使用率の管理

[システムトポロジの表示]



[システムトポロジの表示]

システムに接続されているディスプレイとグラフィックカードを表示します。

[Mosaic の設定]



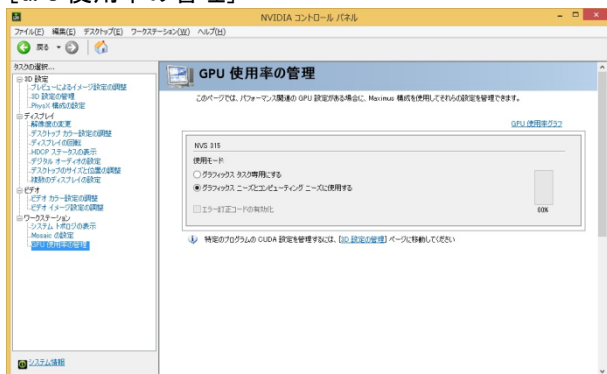
[Mosaic の設定]

Mosaic を使用すると、複数のディスプレイを 1 台のディスプレイとして扱うことができます。

Mosaic 使用中はモニタの接続変更が出来ません。接続変更を行う時は、Mosaic 設定を解除してください。

※Mosaic を使用する場合は、同じ種類のディスプレイを接続してください。

[GPU 使用率の管理]



[GPU 使用率の管理]

パフォーマンス関連の GPU 設定がある場合に、Maximus 構成を使用してそれらの設定を管理できます。

5. トラブルシューティング

グラフィックスアクセラレータを使用している際に問題が生じた場合の対処法をいくつか示します。問題が発生した場合には、これらの対処法を順に、もしくは全てを実行してみてください。

それでも正常に動作しないときは、確認した症状を記録してから、保守サービス会社に連絡してください。

5.1 画面が真っ暗で表示されない

5.1.1 本体装置の電源を入れると本体の電源ランプが点灯するのに全く画面が出ない

- ・グラフィックスアクセラレータとモニタをつなぐモニタケーブルの接続を確認してください。
- ・モニタの電源ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。
- ・モニタの電源スイッチが入っているか確認してください。
- ・モニタの入力が2系統以上ある場合には、入力切り替えが正しいか確認してください。
- ・[ハードウェアのインストール]の項を参照し、再度正しく PCI-Express スロットに実装しなおしてください。

5.1.2 起動時にWindows起動画面から切り替わるタイミングで画面表示されなくなる

- ・[ハードウェアのインストール]の項を参照し、再度正しく PCI-Express スロットに実装しなおしてください。
- ・モニタの電源を入れ直してください。
- ・モニタが設定した解像度に対応していない、もしくはモニタが故障している可能性があります。表示可能な別のモニタと接続してください。
- ・他に接続可能なコネクタがある場合、接続先を変更してください。
- ・モニタの表示可能な解像度、リフレッシュレートから外れている可能性があります。
グラフィックスアクセラレータを下記の方法で VGA モード起動して、画面のプロパティにて正しく画面が出力されるように設定を変更してください。
 - POST 起動中の [Backup NVRAM Data] 100%になるタイミングで<F8>キーを押してください。詳細ブートオプションの画面に入りますので、メニューにある [低解像度ビデオを有効にする] を選択し、Windows 起動後に画面のプロパティで表示される解像度・リフレッシュレートにモニタが対応しているか確認してください。対応していない解像度／リフレッシュレートや、対応の確認が困難な場合にはより低い解像度／リフレッシュレートを設定してから、再起動を行ってください。
- ・シングルモニタで使用時に2つあるモニタ出力の接続を変更すると、変更前の設定で画面が出力されるため OS 起動時に他方の出力コネクタに画面が出力される場合があります。この場合には上記の VGA モードで起動して、画面のプロパティにて正しく画面が出力されるように設定を変更してください。

5.2 起動時にブルーバック画面で止まってしまう

- ・複数のディスプレイドライバをインストールした場合には、相互の影響でディスプレイドライバが正常に動作しない場合があります。その場合には 上記[VGA モードを有効にする]方法での起動後に 3.2 項を参照して、コントロールパネルから不必要なディスプレイドライバを削除して再起動してください。

5.3 ディスプレイドライバをインストールしても、VGAモードで起動してしまう

- ・ディスプレイドライバのインストールが不十分か、ファイルが壊れている可能性がありますので、3.1 項を参照しソフトウェアのインストールを再度行ってください。
- ・ディスプレイドライバの制御に割り込むタイプのアプリケーションソフト (Symantec 社の pcANYWHERE 等) を使用すると、アプリケーションソフトとディスプレイドライバのインストール／更新／アンインストールの手順によっては正常にディスプレイドライバが機能しない場合があります。この場合には、一旦アプリケーションソフトをアンインストールしてから、ディスプレイドライバをインストールするようにしてください。
またアプリケーションソフトの取扱説明書も参照するようにしてください。
- ・NVS315 の故障等でカード交換を実施した場合にディスプレイドライバが正しく認識できず VGA モードで起動することがあります。この場合は、3.1 項を参照しソフトウェアのインストールを行ってください。

5.4 十分なパフォーマンスが得られない

- ・ ディスプレイドライバのインストールが不十分か、ファイルが壊れている可能性がありますので、3.1 項を参照しソフトウェアのインストールを再度行ってください。
- ・ 3D グラフィックスアプリケーションの対応していない画面モードを使用している場合がありますので、画面の領域・画面の色を確認／変更してみてください。
- ・ マウスカーソルがソフトウェア描画されている場合には、若干ですがパフォーマンスの低下が発生します。大きなカーソルやカラーカーソル等に設定している場合には、ハードウェアによるマウスカーソル描画が有効にならず、ソフトウェア描画となります。この場合には、Windows 標準のマウスカーソルを使用するようにしてください。また[マウスのプロパティ]の[ポインタ]タブにて、[マウスの影を有効にする]のチェックを外してください。
- ・ Driver の設定を次のように設定にしてください。
 - － 4.1.3 項にある「プレビューによるイメージ設定の調整」画面右上にある「初期設定に戻す」をクリックし初期設定に戻して下さい。
 - その後、4.1.3 項の「3D 設定の管理」を参照して垂直同期の設定を「アプリ制御」から「強制オフ」に設定してから適用ボタンをクリックしてください。
- ・ 本製品では LSI チップ上で温度を監視して設定されたしきい値を超えると、安全性のために自動的に動作クロック周波数を下げて、より低消費電力のモードに移行します。その場合には基本装置本体の設置環境を確認してください。また改善しない場合にはヒートシンクファンが回転しているかどうかと、ヒートシンクにホコリ等による目詰まりが無いかな確認してください。

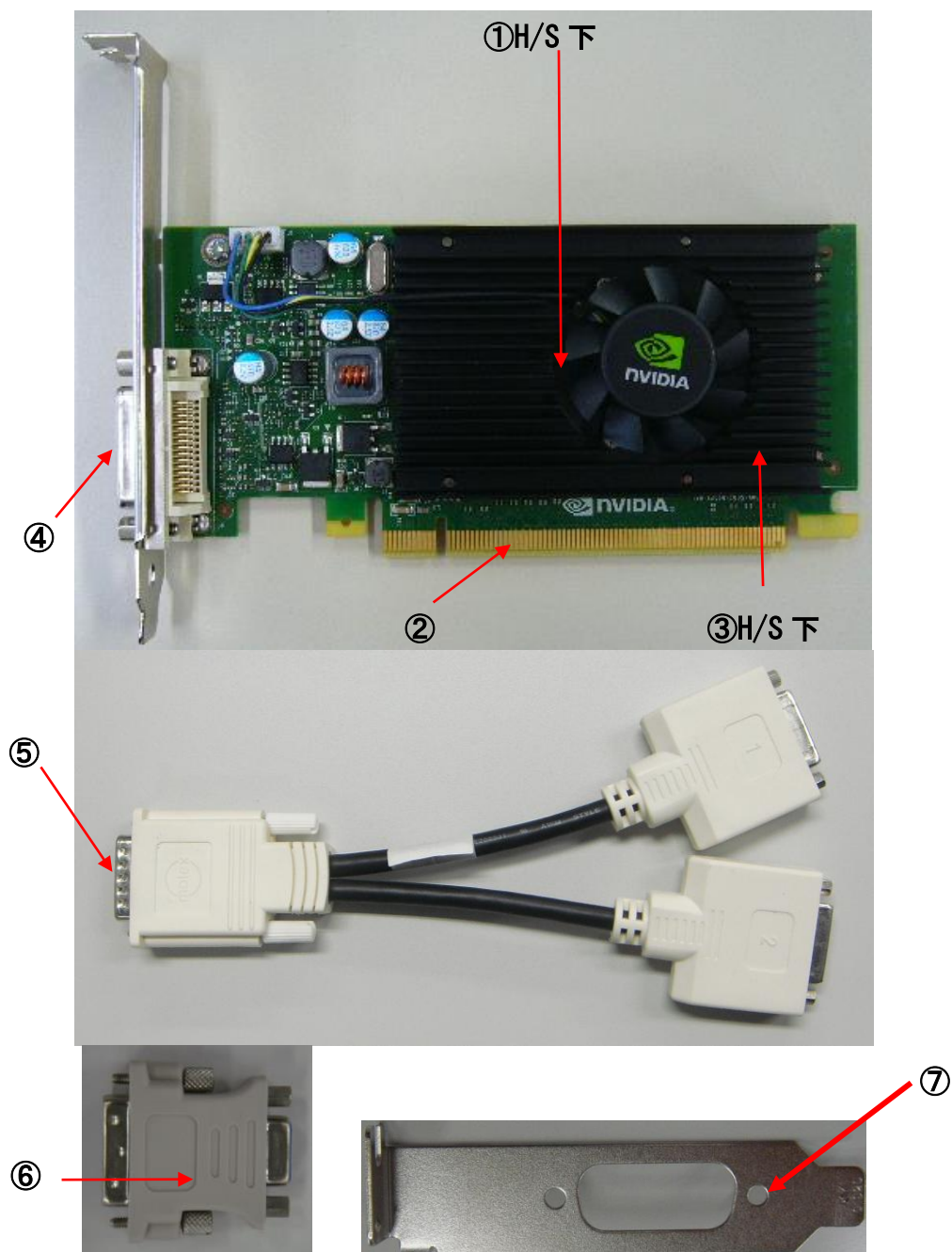
5.5 機能制限について

モニタの接続変更について

- ・ Mosaic の使用中はモニタの接続変更ができません。変更を行った時は画面表示が異常になる事があります。この状態になった時は、モニタの接続を元に戻してください。
- ・ 活線挿抜によるモニタの変更には対応しておりません。故障の原因になりますので行わないで下さい。

6. 各部の名称と機能

6.1 外観



No.	部品名
1	NVS315 (グラフィックスアクセラレータ・チップ)
2	PCI-Express カードエッジコネクタ
3	DDR3-SDRAM
4	DMS59 コネクタ
5	DMS59-DVI ビデオ分岐ケーブル
6	DVI-VGA 変換コネクタ (1 個)
7	ブラケット ※本体製品の PCI スロット開口部の長さによりロープロファイルブラケットに交換して下さい

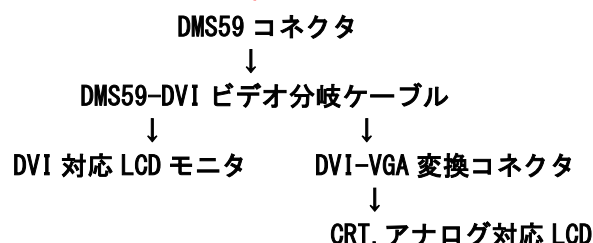
6.2 製品仕様

製品仕様		
インターフェース		PCI-Express (x16 レーン対応)
グラフィックスアクセラレータ・チップ		NVS315 (NVIDIA 社製)
ビデオ RAM 容量		1GB (DDR3-SDRAM)
VGA 互換機能		あり (NVS315 に内蔵)
構成		PCI-Express カード 1 枚
動作電源		+3.3V±5%、+12V±5%
最大消費電力		19.3W
基板寸法		159 x 121 [mm] (1 枚幅)
重量		約 139g
モニタコネクタ		DMS59 × 1 (付属の DMS59-DVI ビデオ分岐ケーブルにより DVI-I × 2 出力可能)
最大解像度 / 表示色 (*1)	アナログ出力	1920x1080 / 1,677 万色
	デジタル出力	1920x1080 / 1,677 万色

*1：接続モニタ、ディスプレイドライバのバージョンによっては、サポートする画面モードが変わることが有り、接続モニタによっては表示可能な解像度が異なります。

6.3 モニタインターフェース・コネクタ仕様

NVS315は映像出力用として1つのDMS59コネクタを装備しています。DMS59コネクタは2つのデジタル・アナログ統合型Digital Visual Interface (DVI-I)に変換されます。



6.3.1 DMS59 コネクタ・インタフェース

DMS59 コネクタは 60 個 (15 個 x4 列) のコンタクトから構成され、DMS59-DVI ビデオ分岐ケーブルのみ接続時はデジタル信号が、DVI-VGA 変換コネクタの接続時にはアナログビデオ信号が出力されます。

注意：DMS59 コネクタは通常直接ディスプレイに接続することはできません。

必ず付属の DMS59-DVI ビデオ分岐ケーブルを接続の上、使用してください。

また CRT, アナログ対応 LCD に接続する場合は付属の DVI-VGA 変換コネクタも接続してください。

CRT, アナログ対応 LCD を 2 台接続する際は、DVI-VGA 変換コネクタ (N8005-1001) を追加でご購入ください。

DMS59 コネクタは、隙間がないように奥まで挿し込み、ねじでしっかり固定してください。

DMS59 コネクタのピン配置

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	GROUND	21	DVI2_TX2-	41	DVI_TX2_GND
2	VGA1_RED	22	Reserved	42	DVI_TX1_GND
3	VGA1_BLUE	23	Reserved	43	DVI_TX0_GND
4	GROUND	24	Reserved	44	DVI2_TX_CLK-
5	+5V	25	DVI1_TX2+	45	DVI2_TX_CLK+
6	VGA1_SCL	26	DVI1_TX2-	46	GROUND
7	VGA1_SDA	27	DVI1_TX1+	47	VGA2_GREEN
8	GROUND	28	DVI1_TX1-	48	Reserved
9	VGA2_SDA	29	DVI1_TX0+	49	DVI2_CLK_GND
10	VGA2_SCL	30	DVI1_TX0-	50	VGA2_HSYNC
11	+5V	31	DVI1_TX_CLK+	51	VGA2_VSYNC
12	GROUND	32	DVI1_TX_CLK-	52	GROUND
13	VGA2_BLUE	33	DVI_TX0_GND	53	Reserved
14	VGA2_RED	34	DVI_TX1_GND	54	GROUND
15	GROUND	35	DVI_TX2_GND	55	VGA1_VSYNC
16	DVI2_TX0+	36	DVI1_HPD	56	VGA1_HSYNC
17	DVI2_TX0-	37	Reserved	57	DVI1_CLK_GND
18	DVI2_TX1+	38	Reserved	58	VGA1_GREEN
19	DVI2_TX1-	39	Reserved	59	GROUND
20	DVI2_TX2+	40	DVI2_HPD		

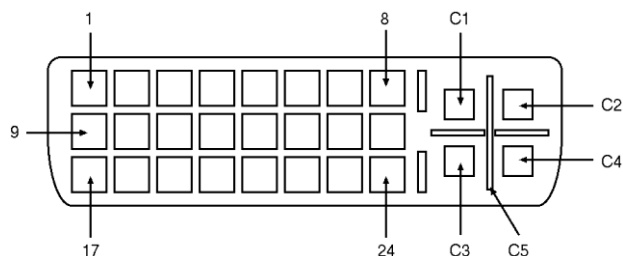
6.3.2 DVI-Iコネクタ・インタフェース (DMS59 DVIビデオ分岐ケーブル接続時)

DVI-I コネクタには、24 個 (8 個 x 3 列) のコンタクトから構成されるデジタル セクション、およびアナログ信号用の 5 つのコンタクトから構成されるアナログ セクションを持ちます。

また DVI-I では、DVI インタフェースによるデジタル接続のほか、添付の DVI-VGA 変換コネクタによるアナログ出力も可能となっています。

本製品でアナログ出力を行う場合には、添付の DVI-VGA 変換コネクタをご使用ください。

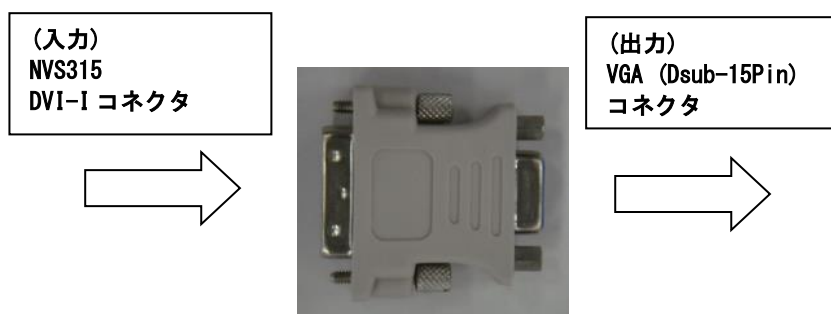
D-sub15 ピンインタフェースのディスプレイを 2 台接続する際は、DVI-VGA 変換コネクタ (N8005-1001) を追加でご購入ください。



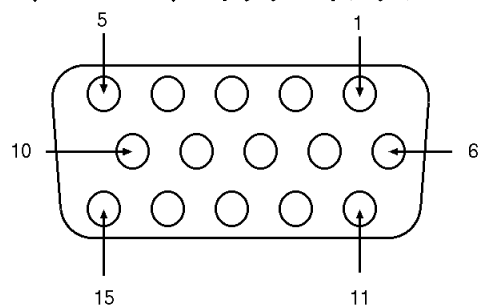
Pin	Signal	Pin	Signal
1	TMDS data 2-	13	TMDS data 3+
2	TMDS data 2+	14	+5VDC power
3	TMDS data 2/4 shield	15	Ground (Return for +5)
4	TMDS data 4-	16	Hot plug detected
5	TMDS data 4+	17	TMDS data 0-
6	DDC clock	18	TMDS data 0+
7	DDC data	19	TMDS data 0/5 shield
8	Analog vertical sync	20	TMDS data 5-
9	TMDS data 1-	21	TMDS data 5+
10	TMDS data 1+	22	TMDS clock shield
11	TMDS data 1/3 shield	23	TMDS clock+
12	TMDS data 3-	24	TMDS clock-
C1	Analog red	C4	Analog horizontal sync
C2	Analog green	C5	Analog ground (RGB return)
C3	Analog blue		

6.3.3 Dsubコネクタ（付属のDVIビデオ分岐ケーブル+DVI-VGA変換コネクタ接続時）

NVS315 の DVI-I コネクタに DVI-VGA 変換コネクタを接続することで VGA コネクタによるアナログ出力が可能になります。D-sub15 ピンインタフェースのディスプレイを 2 台接続する際は、DVI-VGA 変換コネクタ (N8005-1001) を追加でご購入ください。



VGA (D-sub15Pin) コネクタ・インタフェース



Dsub-15Pin コネクタのピン配置(アナログ)	
ピン番号	信号名
1	赤出力
2	緑出力
3	青出力
4	モニタ ID0
5	DDC グランド
6	赤グランド
7	緑グランド
8	青グランド
9	+5V 電源
10	同期信号グランド
11	モニタ ID2
12	DDC データ
13	水平同期
14	垂直同期
15	DDC クロック

NEC Express サーバ

NVS315

ユーザーズガイド

2016 年 2 月初版

日 本 電 気 株 式 会 社

東京都港区芝五丁目 7 番 1 号
TEL (03) 3454-1111 (大代表)

⒫

©NEC Corporation 2016

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。